



## 3. 11に思いを寄せて

2011年3月11日に発生した東日本大震災から、8年を迎えました。本日は、卒業式式場作成のためB日程となり、地震発生時刻の午後2時46分は作業中であるため、30分早めて、5校時終了後に全校放送による黙祷を行いました。

<全校放送 校長講話より>

これから臨時の全校放送を行います。  
少しの間、放送に耳を傾けてください。

6年生が幼稚園に入る頃。2年生が生まれた頃です。  
8年前の2011年3月11日、午後2時46分。

東日本大震災が発生しました。

これまで経験したことのない大きなゆれ。  
福島市でも、土砂崩れがおきたり、建物が倒壊したり、  
電気や水道が止まったりする大きな被害がありました。

海の近くでは想像を絶する津波という大きな波がやってきて、家や人を飲み込んでしまいました。

さらには、海沿いにあった原子力発電所が地震や津波で壊れ、放射性物質が空気中に巻き散らされるという事故がおきました。

この東日本大震災で亡くなった人は震災関連死を含め、約2万人といわれています。

先日、全校集会でお話をしてくれた、じろはったんの会の永野さんも、育ったふるさとから避難しなければならなかった一人です。

今日は3月11日。大震災などでなくなった方々を思い、安らかに眠りくださいという気持ちを捧げるとともに、私たちがこれからの福島をしっかりと守り、高めていくことを誓う日です。  
そうした気持ちをもって、これから黙祷を行います。

午後2時46分、震災の時刻に、皆さんが書いたタイサンボクの葉を、永野さんが相馬の海に流すことと思います。

本来であれば2時46分ですが、今日は、卒業式の式場作成がありますので30分早めて黙祷をします。  
先生方、御指導をお願いします。

それでは、「黙祷」・・・

これで、臨時の全校放送を終わります。



↑  
←  
倒壊した  
建物

避難所とな  
ったあづま  
総合運動公  
園体育館  
↓



※写真 福島市発行  
震災記録誌「東日本大震災の記録」  
～震災から復興に向けた取り組み～より

☆ 裏面に、内堀雅雄福島県知事による「2019年3月11日のメッセージ」を掲載しました。8年前の記憶の少ない子どもたちが復興の担い手としてたくましく成長していくことができるよう、福島への思いを育てていきたいと思ひます。御家庭でも、お読みいただきながら、震災や復興についてお話をしてみてください。